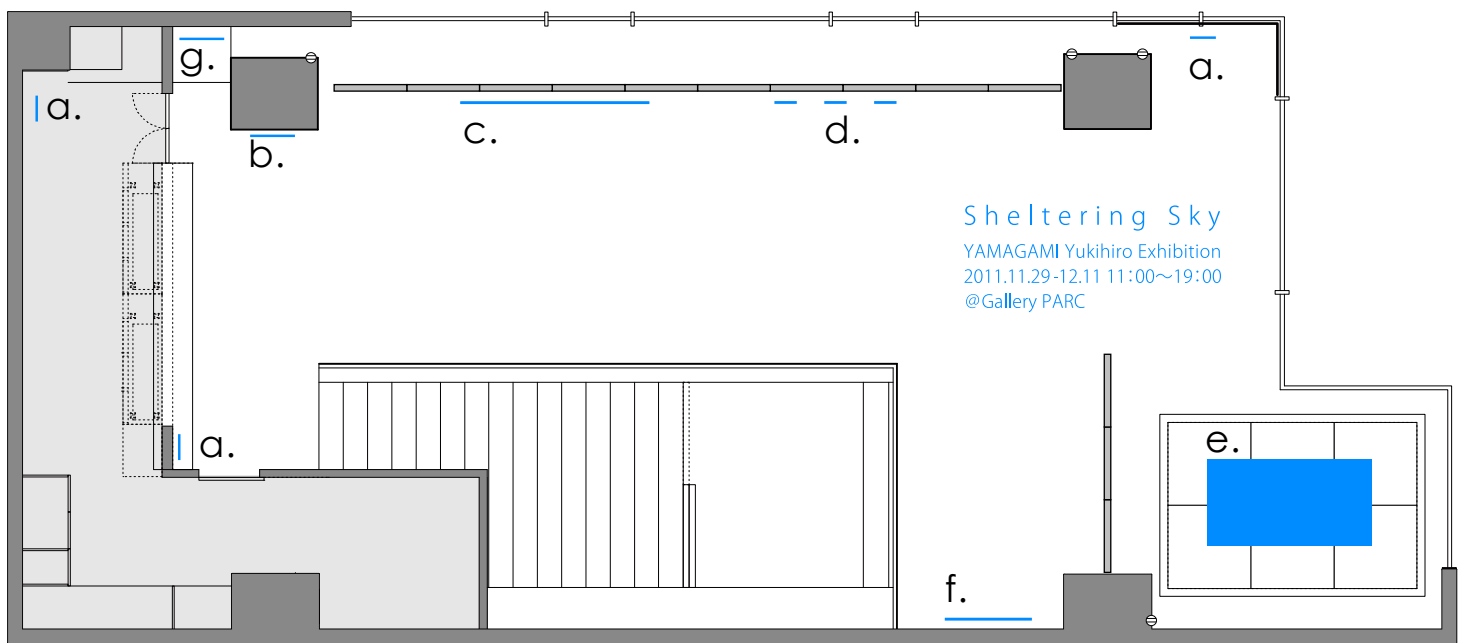




当然のように流れ、過ぎ去っていく都市の景色を写真やビデオなどでスケッチしてみると、普段見落としていた景色と出会います。しかしこれは非日常的な一コマではなく、紛れもなく日常的な都市の風景です。

サンプリングされた都市の風景の中には、驚くような美しい表情や、神秘的な表情、ぞっとするような瞬間があります。その中で出会う興味深い瞬間を、僕は掬い上げて「都市の印象」を表現しています。

【canvas projection】とは、同一視点から見える都市の風景を、タブローと映像という異なる技法で切り取り、再びひとつのキャンバス(画面)の上に重ね合わせるものです。

タブローは映像のためのスクリーンではなく、都市の印象を表現するには、建物や道路といった都市の姿の描画とともに、刻々と変化し続けるその表情の「うつろい」の描写が重要な要素であり、映像はタブローを補完するためのものと考えています。

ヤマガミユキヒロ

a. **Air Scapes**

color positive film, light
26cm×20.7cm
2007

日常、あまり強く意識されることの少ない、「光の変化=色彩の変化」という当たり前の現象を、何気ない空を撮影したポジフィルムとライトボックスによって切り取った作品。

b. **Noises, Crowds And SilentAire (study)**

pencil on tracing paper
56cm×48cm
2002

タブローの上に映像を投影する【canvas projection】作品の原型ともいえる習作のひとつ。描かれた無人の都市に、トレーシングペーパーに描かれた人や車といった「都市の要素」が重ねられている。

c. **Sleep Walking**

2011, Nov., Ginza, Ver-1.0

【canvas projection】
pencil on panel, HD video projector
80cm x 180cm
2011

鉛筆で緻密に描いた無人の銀座に、同一地点から撮影した映像が投影される【canvas projection】による作品。本作は、2010年に発表した油彩画による同名作品の別バージョンで、モノトーンの画面に街の色彩が浮かび上がります。また、ネオンやライトの光、行き交う人や車が重ねられることで、絵画上に光がゆらめき、時間が流れています。

d. **Sheltering Sky (edition work)**

giclee print
20cm×36cm
2011

本展出品作品である《Sheltering Sky》から、うつろう空の一瞬の姿を切り取った作品。新しい印刷技術であるジークレープリントによるエディションワーク。

e. **Air Scapes**

180 color positive films, light
182cm×91cm
2007

ビルの隙間から覗く空の色の変化を撮り続け、そこから約180枚のポジフィルムを選定し巨大なライトボックスの上に配置した作品。「同じ」空でありながら、当たり前「違う」空の姿をありのままに提示している。

f. **Sheltering Sky**

2011, Nov., Sibuya, Ver-1.0

【canvas projection】
pencil on panel, HD video projector
210c x 110cm
2011

渋谷の駅前の大きな商業ビルの合間から見える、空を切り取ったかのような構図は僕がとても好きな風景の一つです。街のにぎやかな商業看板と、ゆっくりと変化をする空の対比がとても神秘的に感じるのは。僕はその神秘的な景色に特化するために、渋谷の街を往来する人や車を全て消し去った無人の街を鉛筆で描画し、そこに空の映像をビデオプロジェクターにて絵画に投影し、僕が神秘的に感じる渋谷の街を表現しています。

g. **Air Scapes (GRAND MARBLE)**

pencil on panel, video projector
120cm×55cm
2011

Gallery PARCが入っているビルを正面から描画し、空の部分に映像をプロジェクションした作品です。

ex. **Air Scapes**

color positive film
2011

*1階ウィンドウ部分作品

Gallery PARCの1階入り口部分に備え付けられているライトボックスを利用し、空を撮影したポジフィルムによるウィンドウディスプレイ作品。